

リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立住吉小学校（大阪市）

【取組内容⑤】クラウドを活用した小小連携・小中連携

資料の共有やチャットの活用で、学校の枠を超えた意見交流を実現

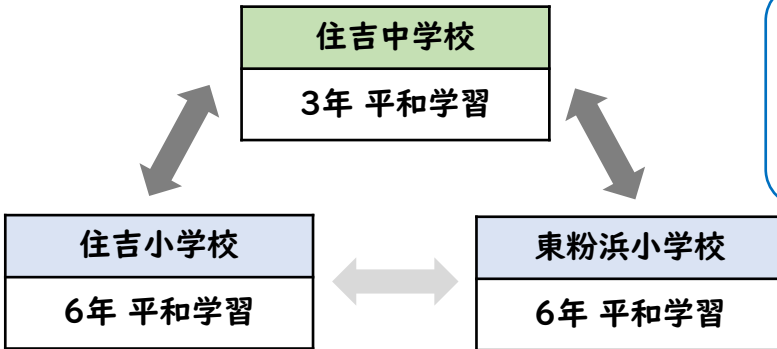
クラウドやオンライン会議を活用した2校間の交流（小小連携）

住吉小学校	東粉浜小学校
4年 社会「住吉区ハザードマップ」	4年 社会「災害新聞を作ろう」
6年 平和学習「ヒロシマが伝えるもの」	6年 国語「ヒロシマのうた」

⇒他校の様子を知ることにより、お互いの学校の学習活動を充実させる



投稿欄を活用した意見交流（小中連携）



児童の反応

修学旅行前に中学生のアドバイスを聞いていたおかげで、注意深く見学や観察ができたよ。教えてもらえて嬉しかった。



- ・ 投稿欄を活用し、中学生からアドバイスをもらうことで、小学生は現地での学習が充実したものに
- ・ 小学生にアドバイスすることで、中学生は個々の学びを振り返り、発展的な学びへ
- ・ 投稿体験を通して情報モラルを意識

